

閉会挨拶

一般社団法人 J A 共済総合研究所 専務理事

及川尚孝



本日は、当研究所のセミナーに全国各地から多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。また、大変ご多用のなか、基調講演をいただきました濱田様、実践報告をいただきました宮嶋様、熊原様、市川様、横山様には、限られた時間のなかで、大変貴重なお話をうかがうことができ、心よりお礼を申し上げます。

今回のセミナーのテーマは「多様な担い手と農福連携」です。農福連携はこれまで、福祉サイドが中心になって広がってきました。

今後はそれらの取組みをさらに拡充してゆくとともに、農村地域の人口減少や高齢化が深刻化するなかで地域を維持してゆくために、基盤となる農業をサポートする枠組みをさらに拡大し、障害者のみならず、高齢者や地域の様々な方々など多様な人材で、農業、農村を守っていくことが重要となっております。

こうしたなかで、当研究所といたしましても、今回実践報告をいただきました取組みのように、農福連携の「福」の広がりや、さらに「福」の

範囲を超えた多様な担い手と農業を結び付けるような取組みを促進していくために、これまで集積してきた先進事例、優良事例にもとづき、次年度より実際に農村地域に赴き、地域の様々な方々と農業をマッチングしていく取組みを広めてまいりたいと考えております。

最後に改めまして、本日セミナーにご参加いただきました皆様に感謝を申しあげ、閉会の挨拶といたします。

本日はどうもありがとうございました。